

⑫ 公開実用新案公報(U)

平4-52351

⑬ Int. Cl.³

H 01 H 85/24
B 60 R 16/02
H 01 H 85/22

識別記号

G

庁内整理番号

7250-5G
7626-3D
7250-5G

⑭ 公開 平成4年(1992)5月1日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 ヒューズボックス

⑯ 実 願 平2-95099

⑰ 出 願 平2(1990)9月12日

⑱ 考 案 者 荒 木 護 静岡県湖西市鷺津1424 矢崎部品株式会社内

⑲ 考 案 者 杉 山 雅 章 静岡県湖西市鷺津1424 矢崎部品株式会社内

⑳ 出 願 人 矢崎総業株式会社 東京都港区三田1丁目4番28号

㉑ 代 理 人 弁理士 滝野 秀雄 外3名

㉒ 実用新案登録請求の範囲

絶縁材より成る板状胴部に一對の雄端子を脚状に突出して設けると共に該板状胴部の延長方向の両端において板厚方向の中間部に位置して挿入方向に延長するリブを形成したブレード型ヒューズを受け入れるヒューズキャビティを有するヒューズボックスにおいて、

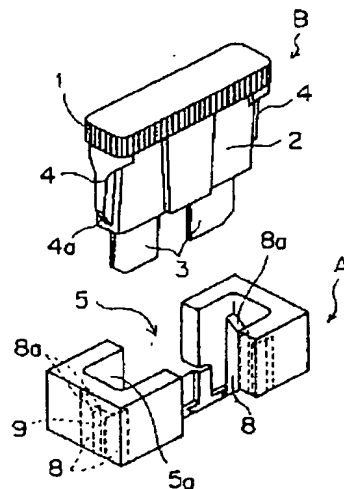
該ヒューズキャビティは該板状胴部の収容部に続いて雌端子の収容部を有し、該板状胴部の収容部は長手方向の両端部において該長手方向と交叉する方向において外端をテーパ状案内面とした一對の背挿入検知用リブを有すると共に該一對の背挿入検知用リブ間においてブレード型ヒューズの前記リブを受け入れる収容溝を形成してなるこ

とを特徴とするヒューズボックス。

図面の簡単な説明

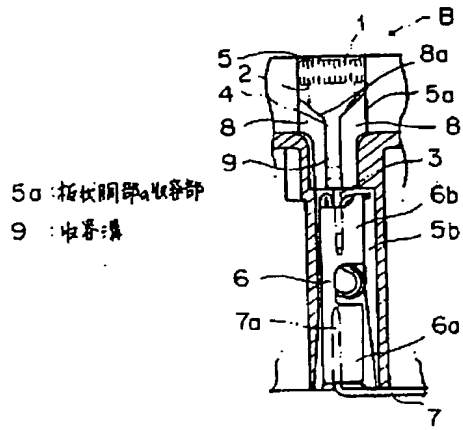
第1図は本考案の一実施例についての斜視図、第2図は同上におけるブレード型ヒューズを装着した状態のヒューズボックスの要部を示す断面図、第3図は同上における背挿入状態の断面図、第4図は従来例の斜視図、第5図は同上におけるブレード型ヒューズを装着した状態のヒューズボックスの要部を示す断面図である。

A……ヒューズボックス、B……ブレード型ヒューズ、2……板状胴部、3……雄端子、4……リブ、5……ヒューズキャビティ、5b……板状胴部の収容部、8……背挿入検知用リブ、9……収容溝。



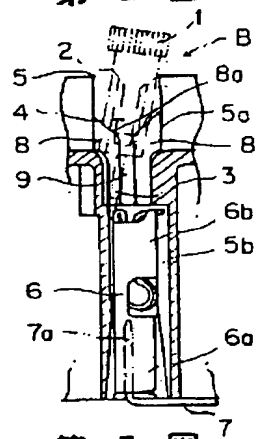
- A ……ヒューズボックス
- B ……ブレード型ヒューズ
- 2 ……板状胴部
- 3 ……雄端子
- 4 ……リブ
- 5 ……ヒューズキャビティ
- 8 ……背挿入検知用リブ

第 1 図

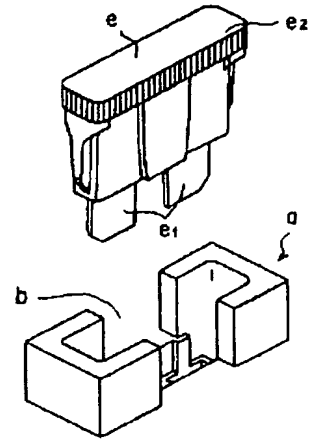


5a: 板状開閉a收容部
9: 中環溝

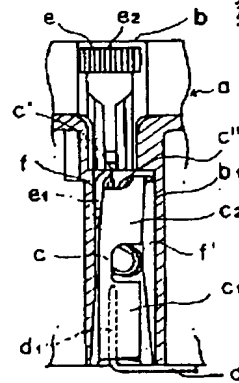
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図